

平成22年度  
まちづくり推進検討委員会  
活 動 報 告 書

平成23年3月  
大 月 市

## 活動の概要

平成 22 年度のまちづくり推進検討委員会（以下、検討委員会と言う。）は、2 回開催された。今年度は、昨年度末の検討委員会の決定に基づき、A、B 各作業部会が設置され、「まちづくり推進検討委員会作業部会設置要綱（案）」をもとに、平成 22 年 7 月より議論が開始された。

第 1 回検討委員会はこの議論を受けて平成 22 年 12 月に A、B 各作業部会から、平成 23 年度実施予定の「大月市賑わいづくり社会実験 企画書(案)」が報告され、内容についての議論がなされた。

第 2 回検討委員会は、平成 23 年 2 月に開催され、平成 23 年度実施予定の「大月市賑わいづくり社会実験 企画書(案)」が、「企画書(案)」から、内容をより具体化した、「大月市賑わいづくり社会実験 実施計画書（案）」へと書き改められ、議論された。

平成 22 年度の活動の概要は以下の通りである。

年月日	会議名	内容
平成 22 年 12 月 3 日	第 1 回 検討委員会	報告事項 ・平成 21 年度第 3 回検討委員会議事録について ・平成 21 年度まちづくり推進検討委員会活動報告 ・平成 22 年度まちづくり推進検討委員会活動計画(案)について ・平成 22 年度作業部会の検討経緯について ・社会実験の企画書(案)について 協議事項 ・平成 22 年度まちづくり推進検討委員会活動計画(案)について ・社会実験の企画書(案)について
平成 23 年 2 月 8 日	第 2 回 検討委員会	報告事項 ・社会実験実施計画書(案)について 協議事項 ・社会実験実施計画書(案)について ・次年度の活動計画について

## 第1回まちづくり推進検討委員会 概要

平成22年12月3日(金)、大月市民会館4階、視聴覚室にて開催された。第1回まちづくり推進検討委員会は、平成21年度の活動内容及び活動結果報告、平成22年度の活動予定及び検討内容についての確認、平成23年度実施予定の「大月市賑わいづくり社会実験 企画書(案)」の検討を目的として開催された。

検討委員会に先立ち、大月市長から挨拶があり、正副委員長の選任ののち、議論が始められた。

検討委員会では、石井信行A作業部会長及び、小俣孝B作業部会長代理より各作業部会の活動の経過と結果が報告された。A部会では5つの具体的事業案から、5事業の関連性を考慮し、「駅前夕市事業」と、「おおつきコンシェルジュ事業」に絞り込まれた経過が発表された。B部会では、6つの具体的事業案及び、その他の提案の中から、「おもてなしストリート事業」、「街なか魅力発見事業」、「“大ツキ”軽トラック市事業」に絞り込まれた経過が発表された。

検討委員会での議論の結果、重複する事業の調整や、社会実験終了後の事業の継続性や持続性、より具体的な内容の検討や絞り込みを行い、「大月市賑わいづくり社会実験実施計画書(案)」として提案していただきたいとの結論に至った。

### ■議事内容

#### 報告事項

- ・平成21年度第3回検討委員会議事録について
- ・平成21年度まちづくり推進検討委員会活動報告
- ・平成22年度まちづくり推進検討委員会活動計画(案)について
- ・平成22年度作業部会の検討経緯について
- ・社会実験の企画書(案)について

#### 協議事項

- ・平成22年度まちづくり推進検討委員会活動計画(案)について
- ・社会実験の企画書(案)について

## 第2回まちづくり推進検討委員会 概要

平成23年2月8日(火)、大月市民会館4階、視聴覚室にて開催された第2回まちづくり推進検討委員会では、検討委員会からの提言を受けて、各作業部会で議論しまとめられた企画書(案)は、A作業部会からは2実施計画書(案)として、B作業部会からは3実施計画書(案)として、提案された。

検討委員会の議論では、「A-1 駅前夕市事業」については、交通規制の関係は、関係機関への申請を早めに行う事、参加者募集のタイミングは慎重に検討する必要がある事が提言された。

「A-2 大月コンシェルジュ事業」については、完成度の高いQ&Aに作り上げるためには、繰り返しグレードアップして充実させる必要性や、1人1人の市民がコンシェルジュとしての意識をどう高めていくかの重要性が提言された。

「B-1 おもてなしストリート事業」については、マップの製作について、重複する事業間での調整が提言された。

「B-2 街なか魅力発見事業」については、新商品の開発を個店任せではなく、商店街として支援していく体制作りや、商店街との観光スポットをいかに連携させていくかの重要性が提言された。

「B-3 “大ツキ” 軽トラック市」については、イベントとしての評価が中心にかかっているが、周辺への影響度を検討する必要性が提言された。

以上の提言を実施計画書(案)に反映させていくことで、「大月市賑わいづくり社会実験実施計画書(案)」は承認された。

最後に、次年度の活動計画が発表され、承認された。

### ■議事内容

#### 報告事項

- ・社会実験実施計画書(案)について

#### 協議事項

- ・社会実験実施計画書(案)について
- ・次年度の活動計画について